

P T A研修会「そば打ち体験」

12月9日（土）、P T A研修会（兼：地域交流事業）として「そば打ち体験」を開催しました。昨年は朝から大雪が降る中での開催でしたが、今年は雪も少なく澄みきった青空のもと午前10時半より保護者、生徒、教職員、町内会の方々の計28名の参加で穏やかにスタートしました。中には昨年に続き2年連続の参加者もいて、「昨年の失敗を生かし、細く長く美味しいそばを打つ！！」と意気込む様子も見られました。「白糠町まちづくり学びの支援ボランティア」としてお迎えしたそば打ち名人は本校のOBでもあり、冒頭のご挨拶の中では当時の白糠高校のことやご自身の卒業後の進路についても触れただき、参加した生徒たちは大先輩のお話を真剣に聞いていました。

まずは名人が説明を交えながら実演し、その後1グループ4～5人に分かれてそば打ちを体験しました。300回の練りでヘトヘトになる人、そばならぬ、うどんのように太く切ってしまう人、初挑戦とは思えない意外な才能を発揮する人・・・調理室のあちらこちらで笑顔が溢れていました。年齢や立場を超え、それぞれの得意分野を生かしながら一つの目標に向かって和気あいあいと交流する様子は、「地域とともに歩む」をキャッチフレーズとした本校らしい一コマでした。約2時間後には美味しいそばが出来上がり、何杯もおかわりする生徒もいたほど、大成功に終わりました。

白糠町でもインフルエンザが流行しつつあり、急遽参加を取りやめた方がいらっしやっただのが残念でしたが、今後も学校と地域の結びつきを大事にし、活発で温かいP T A活動を続けていきます。

